

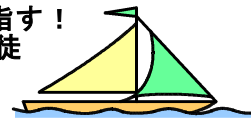
学校教育目標 「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」の育成を目指す！

①求めて学ぶ生徒 ②心を高める生徒 ③たくましい生徒



小値賀物語3

第27話



令和5年1月11日発行

小値賀町立小値賀中学校 校長 池田英二

【明けましておめでとうございます！】

20日間の冬休みも終わり、「3学期始業式」を迎えました。新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

始業式の校長の話は、32年前の小値賀に焦点を当てた話をしました。作家の故高田宏先生が書かれた紀行文が中学校の国語の教科書に掲載されたことに対して当時の小値賀中の生徒が高田先生にお礼のお手紙を送ったことがきっかけで高田先生が中学校の文化祭にも足を運んで講演もしていただいたという話をしました。教科書に掲載された紀行文と当時の一人の女子生徒のお手紙を紹介させていただきました。私は、今の全校生徒に、教科書に載るくらいにあいさつが素晴らしい小値賀の伝統をしっかりと引き継いでほしいと思っています。あいさつ日本一の小値賀中学校を目指していきたいと思っています。

さらに3学期のスタートに当たって3つの確認をしました。1つ目は「3学期を1年間のまとめの学期にすること」2つ目は「次の学年に向かってしっかりと準備する学期にすること」3つ目は「1年間で一番大切な行事である卒業式で、3年間頑張ってきた3年生のために心を込めて歌を歌い素晴らしい卒業式にしてほしいということ」そういう話をしました。令和2年から3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活がおびやかされ、たいへん混乱した3年間でした。本年こそは、感染症に負けずに、十分な予防を行いながら小値賀中学校の生徒一人ひとりが心穏やかに自分の夢や目標に向かってしっかりと頑張れる年にしていけたらと思っています。



【吹奏楽部：冬休み特集！「躍進！」】

①「アンサンブルコンテスト」：12月24日（土）諫早文化会館で行われたコンテストに、2年生森玲香さん、1年生神崎茉実さん、和田芹波さんが出場しました。結果は「銅賞」でした。悪天候のため早めに出発することになり3泊4日の長丁場となりましたが、3人の生徒にとって大変良い経験になったと思います。よく頑張りました。

②「ソロコンテスト」：12月28日（水）に佐世保東翔高校で開催されたソロコンテストでは、それぞれが安定感のある素晴らしい演奏を披露することができ3名の出場生徒全員が銀賞以上の入賞を果たすという素晴らしい結果を出すことができました。これまでの努力の積み重ねが形になって表れています。おめでとうございます。

3年生	井上	かずささん	金賞！
2年生	新田	結月さん	銀賞！
2年生	田川	日夏乃さん	銀賞！

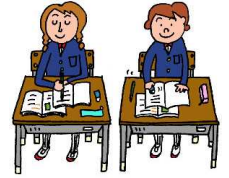
③小値賀町消防出初式の行進演奏：1月6日（金）に、漁協横旧ガソリンスタンド敷地で、北松西高校吹奏楽部、ちかはな吹奏楽団の皆さんと一緒にのびのびと演奏することができました。小値賀町消防団員の皆さんの分列行進に花を添えることができました。



始業式学年代表の言葉（1月10日火曜日）

○1年生 遠山 颯佑君

僕は、今日から始まる三学期は、1年生のまとめの学期だと思います。僕たち1年生は、3か月後に中学2年生になります。四月には、新1年生に先輩と呼ばれるようになり、これまでとは違って、教えられる立場から教える立場になります。その為、一学期と二学期で経験したことや、学んだことを生かし、三学期でレベルアップして2年生を迎えたいです。昨年実施された野外宿泊学習や学習発表会など、生徒が中心となって行う行事では、お互い助け合い、教え合いながら、一つの目標に向かって頑張りました。全員の意見をまとめたり、一から自分たちで考えたりすることはとても難しかったですが、大きな達成感を味わうことができました。三学期はこれまでに学んだ経験を生かし、授業や学校行事を頑張ります。また、個人的な目標として、先を見通して行動できるようになりたいと考えています。昨年は、先を見通して行動することができないことが多く、人を待たせたり、時間に遅れたりするなど、迷惑をかけてしまいました。三学期は、物事に取りかかる順番を考えて行動し、計画的に進められるように意識します。また、僕はトイレのスリッパを並べることを忘れることがあります。次に使う人の気持ちを考えた行動ができるようになりたいです。1年生にとって三学期は、2年生になるための準備期間でもあります。昨年行われた生徒会役員選挙では、どの立候補者に投票するかすごく悩みました。そして今日から、新生徒会がスタートします。生徒会役員を中心に、全員が当たり前前のことは当たり前に行い、先輩を支え、新一年生を引っ張っていけるような人に成長したいと思います。この三学期は、まとめの学期として、昨年成功した経験や失敗した経験を生かして、さらに良い学年に成長できるように頑張ります。



○2年生 濱田凧紗さん

二十日間の冬休みが終わり今日からいよいよ三学期が始まります。三学期は、次の学年に向けての「0（ゼロ）学期」とも言われています。これは私たち2年生にとっては、受験生、最上級生の3年生の「0学期」ということを表しています。だからこそ三学期は、3年生になった時に、受験に向けての勉強、1年生や来年入学してくる後輩をしっかりと引っ張っていけるようにするための準備期間となるようにしていきたいです。そのために学習面では授業で習ったことは、その日のうちに復習したり、1・2年生の苦手な所をしっかりと克服したりしていきたいです。生活面では、あいさつ、返事などを積極的に行なっていきます。あいさつや返事を積極的に行うことで、それが周りに広がり、あいさつや返事ができていないという課題をなくすことにつながると 생각합니다。あいさつについては、「自分から、笑顔で、元気に」を目標に、これからもさらに意識を高めて行くつもりです。また、これは学年の課題でもあるので、後輩の手本となれるように、全員で取り組んでいけるようにしたいです。そうすることでより良い小値賀中になると 생각합니다。また睡眠時間やメディアとの付き合い方や時間の使い方も工夫していきたいです。これらのことを意識して、三学期がより良い0学期になるように頑張ります。



○3年生 日高 共絆君

いよいよ私達3年生にとって、とても重要な三学期が始まりました。三学期は、3年生にとって大事なことが3つあります。1つ目は、もちろん高校入試です。十二月に受験を受けた人や、今月中に受験をする人たちもいます。その人たちは、面接練習や受験勉強を頑張っています。私も冬休み期間中、「もういやだ」「やりたくない」と何回も心が折れそうになりました。けれど、自分の夢のためだと思い、苦しい中でも何とか頑張ることができました。三月に受験する人たちも、これから不安やあせりが高まっていくと思います。私も三月に受ける公立高校が第一志望です。3年生みんなで頑張っていきます。2つ目は卒業式です。私たちにとって、今年の卒業式は三年間の中学校生活の中でも、一番大切な行事になります。今まで先輩方を見送ってきて、今度は自分たちが見送られる番になると思うと「三年間が早かったな」と思います。みんなの心に残る卒業式にしたいと思います。最後の3つ目は、仲間との時間です。一・二学期を思い返すと、とても短かったように思います。三学期は、一・二学期よりも日数が少ないので、時間を大切に使わないと、あっという間に終わってしまうと感じています。3か月後の四月十日には、みんなバラバラになって、それぞれ違う高校で入学式を迎えていることでしょう。この仲間と過ごすのは、残り2か月。残された時間をみんなでわかち合える時間にしたいと思います。1・2年生のみなさん、卒業の日までよろしくお祈りします。

